

Action!

企画書(案)
2015年11月20日

【趣 旨】

現在、障がい者アートの普及および課題の解決に取り組む個人・団体が様々な活動を全国で展開しています。時に、それらの活動は、社会の在り方について考えさせ、我々に気づきをもたらします。本事業「Action!」は、障がい者アートの展示・鑑賞を目的とする展覧会ではなく、活動に従事する方々の言葉を中心に紹介し、課題やビジョンを共有する場、考え、活動が生まれる場づくりです。今後、ここ大分県でも、社会を豊かにするための活動=Actionが生まれてくることを目指し、本事業を開催します。

【概 要】

タイトル：Action!

主 催：大分県

企 画：NPO 法人 BEPPU PROJECT

協 力：一般財団法人 たんぼぼの家

日 時：2016年1月15日(金)～17日(日) 10:00～19:00(17日は16:00まで)

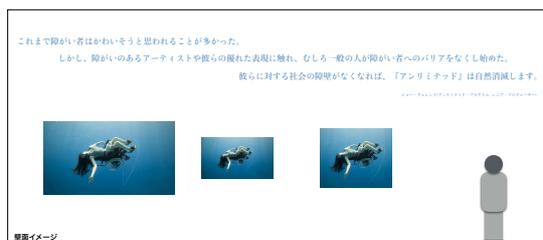
※ 設営期間 1月12日～14日

会 場：大分県立美術館 展示室A

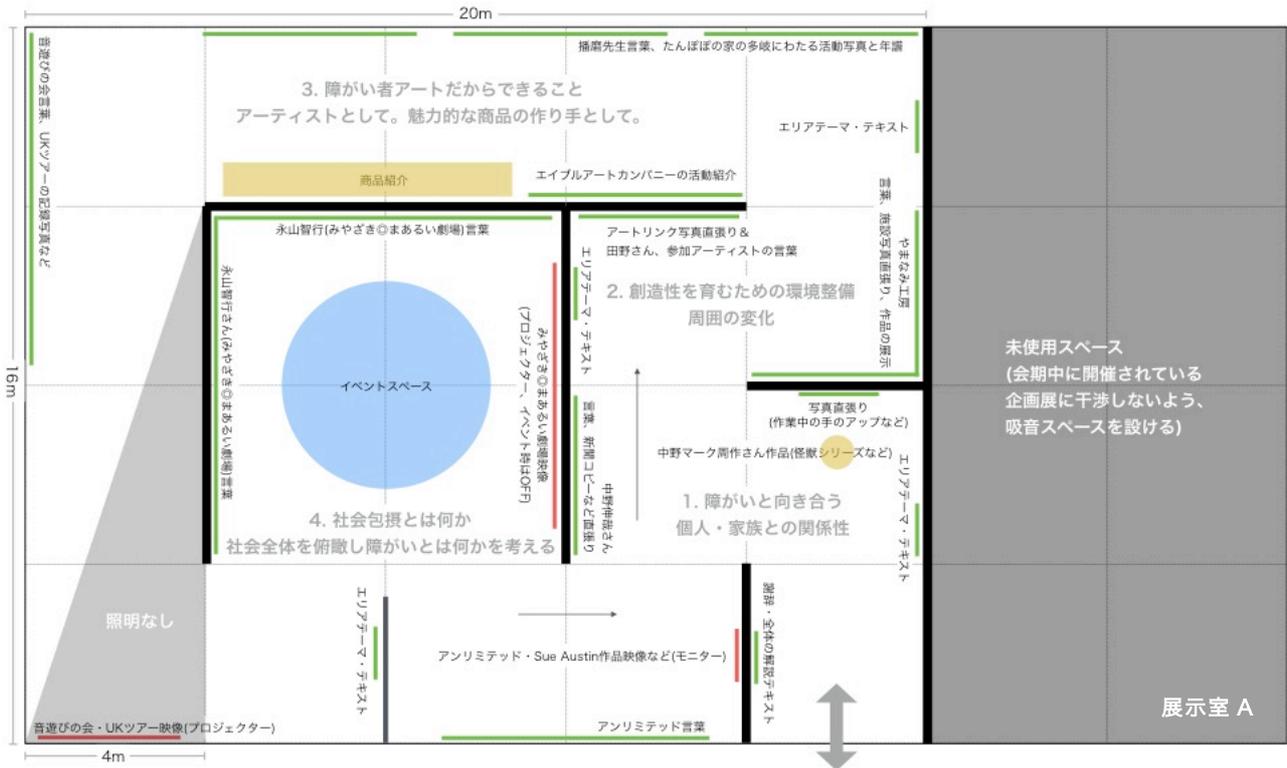
後 援：大分市、大分市教育委員会、大分県社会福祉協議会、大分市社会福祉協議会、大分合同福祉事業団、大分合同新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社大分支局、西日本新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、エフエム大分、月刊・シティ情報おおいた ほか(全て予定)

内 容：障がい者アートにかかわる国内外8つの個人・団体の活動をテーマごとに紹介。事前にインタビューを行い、それぞれの活動を象徴する言葉を記録写真・映像や作品とともに展示する。家族内の関係性から最後は社会全体につながるように徐々にテーマを広げ、空間のサイズをそれと連動させ構成。

会期中、障がい者アートとは何か、創造性が発揮される環境を作るために何が必要か、社会包摂という観点から障がいとは何を意味するのか、参加者とともに考えるフォーラムを開催する。また、参加する各団体の活動に関する書籍やDVD、商品を会場にて販売する。



【テーマと会場構成】



① 障がいと向き合う ～ 個人・家族との関係性

展示内容：どのように障がい者と向き合ってきたか、父である中野伸哉氏にインタビューを行い印象的な言葉を壁面に設置する。それとともに中野マーク周作氏の作品および作業中の記録写真を展示する。

② 創造性を育むための環境整備 ～ 周囲の変化

展示内容：若手アーティストと障がい者をマッチングさせ、新たな表現活動を生むアートリンク・プロジェクトの田野智子氏や関わったアーティストの言葉と記録写真を展示。また、アートと出会うことで劇的に変化した事例としてやまなみ工房を紹介、インタビュー内容とともに作品の展示を行う。

③ 障がい者アートだからできること ～ アーティストとして。魅力的な商品の作り手として。

展示内容：日本の障がい者アートを牽引してきた、たんぼぼの家の多岐にわたる活動を俯瞰するロングインタビューを実施、記録写真とともに展示する。また、エイブルアート・カンパニーによる障がい者アートを商品化する試みを、事業内容とともに商品を展示し紹介。さらに、障がい者とアーティストによる音楽公演を実現する音遊びの会のワークショップの記録展示、UK公演の映像を上映する。

④ 社会包摂とは何か ～ 社会全体を俯瞰し障がいとは何かを考える

展示内容：障がい者も参加する演劇プロジェクト「みやざき◎まあるい劇場」の記録映像上映および劇団こぶく劇場代表の永山智行氏のインタビューを展示。

⑤ アンリミテッド

展示内容：ロンドンオリンピック・パラリンピックの文化プログラムの一環として実施された「アンリミテッド」から Sue Austin の作品を中心に紹介。障がい者、健常者を超え人間の尊厳について考える。

イベントスペースでのイベント

ワークショップ：中野マーク周作氏が講師となり、粘土造形ワークショップを実施する。

16日 13時～14時 / 定員：30名(先着順) / 料金：無料

フォーラム：参加者全員で障がい者アートについて考えるためにフォーラムを開催。

16日 17時～19時(1部 17:00～17:30 / 2部 17:35～19:00) / 定員：150名(予約者優先) / 料金：無料

1部：講師 播磨靖夫(敬称略) たんぼぼの家の多岐にわたる活動から障がい者アートについて考える

2部：進行 山出淳也 播磨氏や中野氏を交え参加者全員で社会的包摂の観点から障がいについて考える